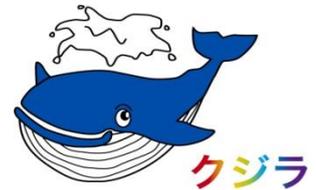


チャレンジ



NO.24 2012.7

暑中お見舞い
申し上げます 

発行者 特定非営利活動法人 チャレンジド ステーション クジラ
〒196-0003 東京都昭島市松原町3-6-7 アートヒルズ 105
事業所 TEL/FAX 042-569-6433
法人:TEL/FAX 042-542-7288
E-mail shurou-kujira@9jira.com
URL <http://www.9jira.com>

■ 障害者雇用率が2%になります。

厚生労働省は民間企業の障害者の法定雇用率を現在の 1.8%から 2.0%に引き上げる方針を固め、5月23日の労働政策審議会障害者雇用分科会で了承されました。同時に雇用を義務付ける企業の規模も従業員56人以上から50人に変わります。

企業の障害者雇用は昨年、過去最大を記録するなど全体として増加傾向にあり、引き上げでさらに促進をとの思いがあるようです。あわせて、国の機関や障害者雇用率の良くない都道府県教育委員会なども0.2%の引き上げとなります。

■ 働くこととは、働けることとは

5月15日、今春卒業した大学生の就職率が4月1日時点で、前年同期比2.6%増の93.6%だったとのニュースがあり、働くこととは何か、を考える議論になった。「就活留年」は除く数値で実態はもっと就職できない人が多く居ることが問題と新聞等の論調である。

Tさん「勉強したことが生かせない社会なんて社会的損失」Kさん「新規学校卒業時、これだけ一斉に採用の国は、日本だけ。自分が好きで勉強した学問が仕事に生かせる人って何パーセントいるのかな、定時採用は日本独特の終身雇用の名残りかな。」自由な市場経済での職業選択権は万人の権利であるが、富裕層が教育をはじめ、社会システムを優先享受すれば強制と腐敗、差別を引き起こすこともある。

同日、政府は、「若者雇用戦略」の骨子を発表した。「地域キャリア支援協議会」をつくり、中小企業を紹介「新卒ハローワーク」で就労支援員を増員させ、支援をするとか。

一方で「100%の就職を目指します」として、特別支援学校が再編されてきた。障害の程度等により、地域の支援学校でなくて、遠距離の支援学校へ通学していた障害者がいた。また、障害者手帳が発給されていなくても、支援学校の就職数にカウントできる人はなぜか特別支援学校へ通学していた。障害者だからと、教育を受ける権利や職業選択権をないがしろにしている筈がない。支援者の都合で支援してしまっていないだろうか。

以前、西村スーパーバイザーが「ミツワ石鹸の理論」=世間では職業選択の理論であるが、仕事を決定する時には、①自分がやりたい仕事、②自分が出来る仕事、③社会が自分を受け入れてくれる仕事、の三つの輪が重なる必要があると言っていた。しかし、現実には、社会が自分を受け入れてくれる仕事に就き、そこでスキルを高め、「自分が出来る仕事」が「自分がやりたい仕事」になるのだ。

社会や世間を批判するだけでなく、「自分が出来る仕事」が「自分がやりたい仕事」になり、そのことで社会での存在、貢献が認められたら、職業人生として幸せなのではないか。(文責 加納)

今回のリレーコラムは株式会社小僧寿し昭島店
A.M 様よりご寄稿いただきました。

リレーコラム



私は障害者雇用に関してはあまり興味がなかったのですが、小僧寿し昭島店では3年間で3名の方を採用させていただきました。

当初、私がこの子達に仕事を教えて育てていけるのか？又、どの様に接したらいいのかということが最大の悩みでした。

でも3人目に支援センターのクジラ様より紹介されたSさんが入社してきてからというもの、障害者という概念が一変しました。

まず、Sさんは仕事に入ると、1度教えた事に対して、毎回私たちに聞く事もなく、私たちと同じように言われたことをきちんとこなしていました。

また、障害者の方を比べてはいけないと思いつつも、自分の中で比較していたことを他の障害者の方が感じたのか、Sさんより先に入社した1名が退職してしまったことがありました。これは私が彼女たちとの接し方を間違っていたのではないかと自問自答しました。(今振り返ると無意識ではありますが、おそらく2人を比較していたのではないかと感じています。)

又、Sさんは1つの作業が終われば、次の作業に目がいくのですが、これはものすごい進歩です。

今ではパートさんからの信頼もあり、Sさんなりにたくさん入ってきた後輩に仕事のやり方など教えていたりもしています。これからも職場でのSさんの活躍に期待をしたいと思います。

又、いつもお忙しい中、気をつかって職場に訪ねてきてくださり、Sさんへの対応をしていただきまして、支援センターのクジラ様には心より感謝申し上げます。

これからもいろいろあろうかとは思いますが、ご助言の程よろしくお願ひ申し上げます。



利用者の方から

私がチャレンジドステーションクジラを利用し、今の職場に就職するにあたって様々な事がありました。同時にそれらの経験は私にとって忘れていた何かを思い出させてくれたのです。

事の始まりは私が大学4年生の時に配属された研究室での対人関係や、自分がどういった職種に向いているのかも全く分からないまま始めてしまった就職活動による焦りといらだちと将来への不安が積み重なり、ついには大学に通学しなくなりました。それからは家に引きこもるようになり完全に自分の世界に閉じこもるようになりました。自分の事を心配してくれる連絡さえも無視するようになり人と人の繋がりさえも遮断するようになりました。

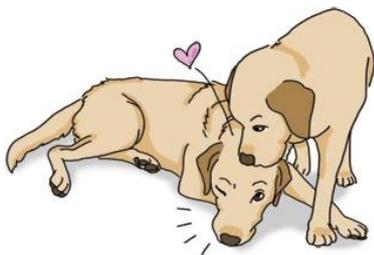
その後は、とある所から大学内にある学生相談室という施設の存在を知り少しずつではありますが大学に通い始めました。学生相談室に自宅から比較的近い精神科のクリニックを紹介されました。現在月に1度のペースで通院しています。大学4年次はクリニックでの治療を受けていました。治療を受ける前に比べ精神状態が落ち着いたので大学の研究室に通い始めました。何とか卒業研究の単位を修得する事が出来ました。しかし、他の単位が足らず留年することになりました。その後は学生相談室の先生にテストは出来なくてもいいから授業は全て出席してとの指示を受けました。この言葉は今でもはっきりと覚えています。

毎日外に出るという事をしていなかった反動により、かなり辛かったです。その後は半期遅れで大学の卒業が決まりました。それからは就職先を探す為にハローワークに通う事にしました。大学の卒業後も学生相談室に通っていました。学生相談室の先生にまずアルバイトでもいいから始めてみてはどうかと言われ精神的にもかなり落ち着いたので就職活動を始めました。何回かアルバイトの面接を受けましたが中々採用されず気持ちが落ち込んでいました。

両親に弟が利用している在宅福祉サービスウィズをすすめられ、とある資格の研修を受ける事にしました。ウィズの理事長からチャレンジドステーションクジラという就労支援センターを紹介されました。それからは手帳を取り、クジラを利用することになりました。今の職場に就職するきっかけになったのは私がどういった職業に向いているか、などをきめ細かい分析と障害者パソコン訓練により私に合っている職場にめぐり合う事が出来ました。今後も仕事を頑張っていきたいと思います。(原文のまま掲載させていただきました。)

長谷川隼人

就労をしている皆さまが会社の帰りや休日に事業所へ気軽に相談できるように「ナイトサポートとホリデーサポート」を行っております。



ナイトサポート (17:15~21:00)	ホリデーサポート (10:00~16:00)
7月6日 金曜日	7月15日 日曜日
8月はホリデーサポートとナイトサポートはありません。	
9月7日 金曜日	9月16日 日曜日
10月5日 金曜日	10月21日 日曜日
11月2日 金曜日	11月18日 日曜日

多摩市… ここは、その昔「多摩ニュータウン」と呼ばれ、狸との戦い【1994年ジブリ作品「平成狸合戦ぽんぽこ」参照】に勝った(?)人間どもが、新文化生活圏を築き、パラダイスのように言っていたが、近頃では、狸のたたりか、はたまた歳月の為せる業か、高齢化が進み「多摩オールドタウン」と化してしまった。丘陵の陰で、狸があざ笑うかのように「♪タンタン、タヌキの金〇〇(多摩でなく時計ですから)は♪風もないのにブラブラ♪そ〜れ♪を見ていた雨蛙♪…」と歌い、腹鼓にあわせて楽しそうに踊っているではないか。「人間様を冒瀆する、この憎っきタヌキめ」と、成敗しようとしたら、例の千畳敷き攻撃でやられて身動きが出ない。クック、 苦しいと思っていたら、掛布団をグルグル巻きにして、目が覚めた。

多摩市は、14万6千321人の人口だが、障害者雇用の特例子会社が4社もある。以前、ハローワーク府中のランチを市の施設に設置していただき、多摩市長室へ何度もお邪魔した経緯があり、渡辺幸子市長には懇意にさせていただいた。特例子会社が4社あること、京王電鉄本社、京王沿線市、区長会でも自慢だったことなどをお聞きした。さらに、ベネッセ東京ビルの最上階に「スカイドーム」があり、これも市内の小学生の社会教育の大切な施設と言われていた。ベネッセと言えば、旧名「福武書店」で文系大学生の「入りたい会社」の上位に常にランキングされていた企業である。

2005年6月に、ハローワーク府中で第一回多摩地域障害者雇用企業連絡会(以下連絡会)が開催されてから25回目の節目にあたる会議が、多摩センターにある(株)ベネッセコーポレーションで、オブザーバーも含め、63名34社の参加で開催された。(株)ベネッセビジネスメイトの創設も多摩地域障害者雇用企業連絡会の創設と同時期であり、ハローワーク府中の所長室で、Y女史に半日も「障害者雇用のなんたるか」「ベネッセらしい特例子会社を」とレクチャーと要望、エールを送ったのがつい先日のようだ。また、「委託訓練」を活用するとともに、地域の就労支援機関へ情報をキチンと公平にオープンにし、かつ複数の支援機関へ協力を求め、障害者の送り出し、支援、ジョブコーチ等を大規模にお願いした初めての取組であった。そして、支援機関の温度差を痛感したことも、今は昔です。

♪たまごクラブ♪ひよこクラブ♪こっこクラブ♪は自らみんなを幸せにする「火の鳥」に成長したのか。

5月22日午後 雨模様の中、「♪たまごクラブ♪ひよこクラブ♪こっこクラブ♪」と歌いながら多摩センターから(株)ベネッセコーポレーション東京本社へ向かう。右手に社屋、正面にキティランドが。多摩市長室には、大きいキティちゃん鎮座していた。多摩市役所の当時の産業振興課長はキティラーで、「パンツまでキティちゃん」とか。地域の産業振興に命とパンツを賭ける正に、清く、正しく、貧しい公務員のカガミと尊敬しちゃいました。ちなみに京王鉄道の運転手、線路保安員バージョンの限定キティちゃんは、わが家の家宝となっており、また、車掌バージョンはインドネシアの労働省の役人の視察時にプレゼントをしました。キティちゃんは言葉は通じなくとも、世界に発信した日本の一大ブランドなのだ。

♪「いぬの気持ち」♪「ねこの気持ち」♪♪

第25回多摩地域障害者雇用企業連絡会が開催され、正面入り口に受付を配置、「いぬの気持ち」「ねこの気持ち」「とらじろう」が見守る中、最初に入館受付を行い、10数名別で5グループにグルーピングし、BBM(ベネッセビジネスメイト)のスタッフの案内で障害者の方が働いている現場を見学させていただいた。(株)ベネッセビジネスメイト代表取締役社長櫻田様から、「(株)ベネッセビジネスメイト会社概要説明」と題して、会社紹介とChange&Challenge会社のめざす方向性や取組事例について、熱い想いの入ったお話をいただきました。

2005年2月には、㈱ベネッセコーポレーションの障害者雇用特例子会社として、ベネッセコーポレーション東京内に設立登記されました。(㈱ベネッセコーポレーション本社は岡山です)

教育事業の企業だけあって、企業理念 Bene(よく)esse(生きる)が障害者雇用特例子会社の企業理念へ、そして Credo(クレド 約束)へとリンクしています。障害者雇用で特例子会社と親会社が資金、人事、仕事の発注でリンクしていますが、企業理念を一体化しており、その先駆性は素晴らしく、感激です。

■ ～BBM (ベネッセビジネスメイト) の概要～

《所在地》多摩市落合1-34 ベネッセコーポレーション東京ビル内(岡山事業所あり) 2005年4月業務開始。

《資本金》5,000万円 グループ適用7社(現在時点)

《事業内容》

- ① クリーンサービス トイレ清掃、フロア通路・階段清掃、廃棄重要書類回収、シュレッダー、ゴミ回収
分別作業、会議室セッティング
- ② メールサービス 社内定期便、トラック便、郵便物の仕分け、転送作業、フロアデリバリー(集荷・配達)、
教材解体など。
- ③ OAセンター ベネッセの各部署から依頼・発注された大量コピー、製本作業、フロア内の複合機の
トナー交換。
- ④ オフィスサービス ベネッセコーポレーションの総務サービス代行。ICカードの運用・管理、事務用品
消耗品等のデータ管理・発注など。
- ⑤ マッサージサービス ベネッセコーポレーション従業員に対する福利厚生でのマッサージサービス。
国家資格を持つ社員が施術。
- ⑥ スタッフ部門(人事総務部) すべての従業員が「安心して」「快適に」勤務でき、仕事を通じて成長が
果たせるように会社を支える基盤部門。7月からビルの最上階に「スカイドーム」の
管理運営も受託するとか…。櫻田社長の営業スピリットに脱帽です。

《従業員》169名。 障害者が103名(知的障害者59名 精神障害者12名 肢体障害者11名
視覚障害者6名 聴覚障害者10名 内部障害者5名)です。

《売上》722百万円(2011年度)と事業の受託拡大に合わせ、障害者雇用が拡大され、100名を越す障害者の
雇用と、逆にいろいろな業務受託促進が障害者雇用の拡大を果たしたと言えるのではないでしょ
うか。しかし、グループ適用8社の障害者雇用率は1.93%(2012年4月1日)で、来年から法定障害
者雇用率2%へ改定もあり一層の取組が必要とされています。

BBMでは障害者技能競技大会(アビリンピック)に毎年出場して素晴らしい成績を治めており、スキルとモチベーションの高さが伺えます。さらに、「会社がめざす方向性 Change&Challenge」として①「市場競争力をもつ自立した特例子会社」②「社員、地域・社会にとってもっと価値のある会社へ」を方針として取り組んでいます。櫻田社長の迫力ある説明に、トップリーダーのマネージメントによって、企業は発展し、そこに働く社員の満足感、地域、ユーザーへ企業理念 Bene(よく)esse(生きる)を発信していることを教えられました。その後に登壇し、自らの仕事や想いを説明していただいた3名の障害者の方たちの発言や、それを支えているスタッフの言動でウラ付けられていました。BBMには、財産として素晴らしいメンバー、強いリーダー、理論的なマネージメントがあり、障害者雇用のモデルとして、先駆的役割と今後の発展が期待されます。㈱ベネッセビジネスメイトは「たまご」から「ひよこ」へ～「こっこ」クラブへ、「いぬの気持ち」も「ねこの気持ち」もそして、なによりも人の気持ちが分かり、自らみんなを幸せにする「火の鳥」(手塚治虫の永遠名作を参照)に成長していました。㈱ベネッセビジネスメイトの櫻田社長様はじめ、皆様大変お世話になりました。ありがとうございました。(文責 加納)

報告 4月・5月

- 4月 6日 株式会社 T 様企業訪問
- 4月 8日 利用者親睦会【国営昭和記念公園】
- 4月 24日 東京都立南大沢学園様来訪
- 5月 11日 ナイトサポート
- 5月 13日 法人業務監査
- 5月 15日 法人会計監査
- 5月 20日 ホリデーサポート
- 5月 22日 株式会社 B 様企業訪問
J 様企業訪問
- 5月 24日 ゆいのもり福祉協議会評議員会出席【食工房ゆいのもり】
- 5月 28日 N 株式会社様企業訪問
- 5月 30日 地域支援会議出席【昭島市役所 201 会議室】



お詫びと訂正

前回の広報に発行号数の記載についての誤りがありました。前回の広報を 22 号として発行いたしました。正しくは 23 号になります。号数の記載について誤りがありましたことを深くお詫び申し上げます。

NPO 法人 チャレンジドステーションクジラ賛助会について

NPO 法人 チャレンジドステーションクジラ賛助会へ多数のご協力をいただきましてありがとうございます。今後も一層の努力をして参りますので宜しくお願いいたします。

賛助会は随時受け付けております

年会費 1 □ 2,000円
連絡先 042(542)7288 お振込みの場合は下記までお願いいたします。
振込先 青梅信用金庫昭島支店
普通口座店番 **015** □座番号 **0711599**

特定非営利活動法人 チャレンジドステーションクジラ 理事 東條 芳男